

【林田朋幸ゼミナール】 2025 年度 活動報告

対象地域	栃木県那珂川町小砂地区、東京都渋谷、他
テーマ	農山村・都市生活に関する実態調査
キーワード	農山村、都市、農作業体験、生活、社会調査

地域社会の生活の実態についてより深く学ぶことを目的として、フィールドワークを実施しました。2024 年度に引き続き、農山村である栃木県那珂川町小砂地区で、農山村生活や地域資源について学ぶことを目的として田植え・稲刈り体験や陶芸体験を実施しました。また、東京都渋谷で都市生活や開発について学ぶことを目的として巡検実習を実施しました。参加した学生の多くは入学後初めてのフィールドワークでしたが、実習を通して地域の実態やフィールドワークの手法について理解を深めることができました。今後の大学での学びにつながることを期待されます。

● 栃木県那珂川町小砂地区棚田オーナー活動への参加

小砂地区では住民組織である小砂 village 協議会を中心とした都市農村交流事業が行われており、その一つである棚田オーナー活動に 2024 年度に引き続き参加しました。5 月には手作業での田植え体験、9 月には刈り取った稲の天日干し体験を行いました。昼食時には小砂地区の有志により地元食材を使用した食事が提供され、地域住民や参加者と交流を行いました。学生の多くはこれまでに農作業の経験がほとんどなく、また農山村を訪れ地域住民と話す機会が限られています。そのため、今回の実習はこれまでに大学で学んだ知識について理解を深めるうえで貴重な機会となりました。それに、普段は交流する機会がない世代・立場の人と交流する貴重な機会となりました。(写真 1,2)



写真 1



写真 2

● 小砂地区草刈隊への参加

多面的機能支払交付金に関する事業である小砂地区の草刈隊の活動に、2024 年度に引き続き草刈応援隊として 5 月と 9 月の 2 回参加しました。小砂地区の農家や行政担当者から草刈機使用の指導を受け、小砂地区内農地約 10a の管理活動に参加しました。作業後には、農家と学生による意見交換や小砂地区産新米の提供があり、交流を深めました。参加した学生からは、初めて草刈り機を使用する経験ができて良かったという声や、草刈機の使用時に安全性を重視することの必要性を感じたという声がありました。農家や農地管理の実態についてより理解を深める貴重な機会となりました。(写真 3)



写真 3

● 小砂地区陶芸体験

栃木県の伝統工芸品である小砂焼の製陶所で、手びねりの陶芸体験を行いました。陶芸家の指導のもと、学生は自分たちで作りたい物や形を考え制作しました。参加した学生からは、保育園・小学校以来の陶芸体験でとても楽しかったという声や、近いうちにもう一度参加したいという声がありました。また、小砂焼の特徴や完成までの過程について、作品を見学しながら説明を受けました。さらに、学校教育や都市農村交流事業という点から、陶芸体験の特徴や利用実績について聞き取り調査を行いました。陶芸体験の実態について、体験と聞き取りを通して学ぶことができました。(写真 4,5)



写真 4



写真 5

● 東京都渋谷巡検実習

東京都渋谷駅から表参道駅までを歩いて観察しながら、各施設の建設の経緯や渋谷の歴史について学びました。各観察場所では案内人から解説があり、事前学習や日常生活での渋谷訪問の経験で得た知識をもとにより理解を深めることができました。参加した学生からは、実際に現地で見聞きすることで渋谷の開発について現状や課題についてより深く知ることができたという声や、これまでの訪問とは異なる視点から渋谷について学ぶことができたという声がありました。都市の生活・開発の実態やフィールドワークの意義について学ぶ貴重な機会となりました。(写真 6)



写真 6

以上